



2025年4月28日

各 位

上場会社名 株式会社 ニコン
代表者 代表取締役 兼 会長執行役員
馬立 稔和
コード番号 7731 (東証プライム)
問合せ先 執行役員 財務・経理本部長
松本 武史
(TEL 03-6743-5181)

一時費用の計上、2025年3月期連結業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、第4四半期連結会計期間において、一時費用を計上するとともに、2025年2月6日に公表いたしました2025年3月期の連結業績予想および配当予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 一時費用の計上

精機事業では、主要顧客の投資計画の見直しや半導体市場の回復の遅れを踏まえ、将来の事業計画を見直した結果、回収可能価額を下回った固定資産について79億円の減損損失、将来において収益の確保が困難となった棚卸資産について50億円の評価損、また、サービス拠点最適化のための構造改革費用13億円を一時費用(総額142億円)として計上することといたしました。

2. 2025年3月期通期連結業績予想数値の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 修正の内容

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	720,000	19,000	22,000	16,000	46.63
今回修正予想 (B)	715,000	2,500	4,500	4,500	13.13
増減額 (B-A)	△5,000	△16,500	△17,500	△11,500	
増減率 (%)	△0.7%	△86.8%	△79.5%	△71.9%	
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	717,245	39,776	42,669	32,570	94.03

(2) 修正の理由

売上収益は、映像事業とデジタルマニュファクチャリング事業で販売計画を下回った結果、全社の売上収益は前回予想を若干下回り7,150億円となる見込みです。

また、映像事業とデジタルマニュファクチャリング事業における売上収益の下振れに加え、上記1.にある一時費用の計上により、営業利益、税引前利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益は前回予想を下回る見込みです。

これらの前提を踏まえ、2025年2月6日に公表しました連結業績予想を上記の通り修正いたします。なお、2026年3月期の連結業績見通しについては、5月8日の決算発表時に公表いたします。

3. 配当予想の修正について

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2025年2月6日発表)	円 銭 -	円 銭 25.00	円 銭 -	円 銭 30.00	円 銭 55.00
今回修正予想	-	25.00	-	25.00	50.00
当期実績	-	25.00	-		
前期実績 (2024年3月期)	-	25.00	-	25.00	50.00

4. 配当予想修正の理由

配当予想につきましては、2025年3月期の連結業績予想の修正により親会社株主に帰属する当期利益の減額が見込まれることから、1株当たりの期末配当予想を従来予想の30円から25円にいたします。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。
実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。

以上